

資料2 保育園を考える親の会に寄せられた賛同メッセージ

☆子どもの命、育つ環境を守る社会に

- 子どもの育つ環境、命を守りたいです。それだけです。(東京都杉並区)
- 面積基準の緩和に強く抗議します。子どもの命を守らない社会に未来があるとは思えません。(東京都千代田区)
- 保育所の面積基準を緩和することは、確実に乳児の死亡リスクを高めることにつながります。断じて行ってはいけないことだと考えます。(東京都千代田区)
- 在園保育園児の父です。面積基準を緩和し、子どもを詰め込みにして事故が起きたら、誰が責任をとるのか。面積基準の緩和に反対します。(神奈川県川崎市)
- 「感性と民度」、これがほんと大事だと思う。日本人みんな、そういう感覚が麻痺しはじめてるのじゃないか？ 生活保護の水際作戦とか、『孤立死』とか、「弱い人を守れない社会っていうのはおかしいんじゃないか？」ってことを声を大にして言いたい。
子どもなんて社会で一番弱い立場で、大人が守っていかなくちゃいけない存在だと思います。理屈を超えて人としての感性を大事にしてください。(東京都あきる野市)
- 1歳の息子の父親です。東京都大田区の区立保育園にお世話になっております。待機児童が多く、財政事情が厳しいことも承知しておりますが、人の命に勝るものはないと思っております。今保育事故が起こったら、基準の引き下げを実施した自治体の責任が問われ、全国の子どもを持つ親は、その区市町村の名前を絶対に忘れないと思います。緩和された基準では子どもの安全の保証がありません。その中で他の自治体に先行して実施するようなことはしないでください。(東京都大田区)
- 卒園児の親です。子どもを産み育てる親は、「どんなところでもよいから預けたい」とは思っていません。今の基準でさえ先進諸国の数分の一。詰め込みによる安易な待機児解消による事故増加が心配です。すべての子どもが安心して使える施設を増やしてください。安心して産み、働くという当たり前のことができる社会にしてください。(東京都世田谷区)
- 待機児童の問題は深刻ですが、安易な面積基準の緩和には絶対に反対です。保育園に子どもがいる親でさえも、自分の市町村の認可保育園がどのような状況なのかは、知らないことがほとんどです。
知らない間に、面積基準が緩和され、子どもが危険にさらされていると思うと恐ろしく、この国の

子どもへの考え方そのものに疑問を感じます。(千葉県市原市)

●1歳になる子どもを区立の認可保育園に預けている母親です。大田区は、東京都が引き下げた面積基準を「実施しない」と明言しておらず、本当に心配しています。うちの子どもが通っている保育園は、一昨年定員を1人増やしました。今でも親の目から見て、決して広いとは思えません。あそこにさらに子どもたちが入れば、事故が起こったり、子どもたちの発達にも悪い影響をおよぼすのではないのでしょうか。

先日区役所に問い合わせたところ「メリットとデメリットを考えている」とのお話でしたが、子どもの安全と命を脅かすデメリットを上回るメリットはありえません。保育園での死亡事故で大切な大切なお子さんを亡くされたご家族の訴えを、どう感じているのでしょうか。保育園に入れなくて困っている方たちも、安全でなくてもいいとは絶対に思わないはずで。

すべての子どもたちが安全な環境でのびのび成長していける環境を整えてください。心からお願いします。(東京都大田区)

●大人として次世代を担う子どもたちの育ちを守っていく必要があると思っています。

大人が狭いところで詰め込まれ生活をしていくと弊害があるのと同様、あるいはそれ以上に子どもたちには影響があると思います。行政で最低限のラインをさらに緩めるのは誤りだと思います。(東京都目黒区)

●認可園待機中の親です。ほとんどの保護者は、「安心して預けられる場所」を求めているのだと思います。基準を切り下げるとは、子どもの健康な心と体、なにより命がおびやかされることにつながると私は考えます。

保育園不足は本当に深刻です。でもどうか安易な方法に走らないでいただきたいです。(神奈川県川崎市)

●子どもの育ちを守るのは親の務めです。3人の子どもを保育園に通わせました。今も現役保育園ママです。待機児童が深刻なことは大変問題だと考えています。しかしそのしわよせを子どもに押しつけるのは問題の解決方法として根本的に方向性が間違っています。子どもの目線に立って、まず、子どもが望むだろうことを少しずつでもやっていくのが、親の私たちの務めだと考えています。子どもが毎日長時間我慢して辛い思いをしているのに、どうして親が生き生きと働けるのでしょうか。どうか慎重に対応を検討して頂けますようお願いいたします。(東京都杉並区)

●ふたりの子どもを公立保育園で利用させてもらったものとして、これ以上の詰め込みは許せません。認可保育園の形骸化に反対します。(東京都文京区)

●面積緩和には、絶対反対です。子どもたちの健やかな成長のためには、詰め込みはしてはいけません。うちは第一子、二子が卒園し、第三子が在園中です。けんかが増えます、いさかいが起きます。切れる子どもを作っているのですか？

預ける親も「預けられればいい」と思っているわけではありません。よい環境、よい保育があつてこそ、です。面積緩和、反対です。(東京都西東京市)

●現在、高校生と小学生の2人の子どもたちは市川市の公立保育園にお世話になりました。保育園では、友達との関わりや、生活のあらゆる面での体験を通して、人としての根っこの部分をしっかりと育てて頂き、本当に感謝しています。その環境を、どうか変えないでください。一日、10時間以上過ごす場所が詰めこみでストレスの多い環境になることは、とても怖い事です。面積の基準が下がれば、そのうち、「最低基準で良い」となってしまうでしょう。その影響は、ずっと先にじわりじわりと子どもたちに出てくるはずです。出てからでは、遅いです。

子どもの心の発達はもちろん、それを担う保育士さんが、思い切り子どもと活動できる空間が必要なんです。保育の現場では、保育士の方たちの熱意で支えられていると、いつも感じていました。是非、現場の方の声を聞き、安易な待機児童対策が行われる事のないよう、お願い致します。

(千葉県市川市)

●長男が在園中、次男はこれからの予定です。上記保育所の面積基準緩和についてのご意見に賛同いたします。長男が1歳から通っている保育園の園長先生は、保育園を「命を預かる」場所だとおっしゃっていました。保育所の面積基準緩和は、現場の先生方に大きな負担を与えてしまい、子どもの命を脅かすものと思います。何か事故が起こってからでは遅いです。

大阪市では、各区の区長、保健福祉センター長に実施の可否がゆだねられているようです。関係者の皆様に面積緩和の危険性についてご理解いただきたいと強く思います。(大阪府大阪市住吉区)

●区の保育室に2歳の息子を通わせています。保育室の施設長さんは、子どもを預けることに不安のあった入室当初、「輝く命、大切にお預かりします」と言ってくださいました。その言葉に支えられ、親子とも安心した生活ができています。

保育園の面積基準の緩和は、子どもの生命や健康をおびやかす、極めて大きな問題と考えます。杉並区は今回の対象自治体ではありませんが、すべての地域の人が安心、安全な保育を受けられるよう、心から願っています。(東京都杉並区)

●せっかく入園できた保育園なのに、狭い保育室で遊ばないといけないなんて……今、子どもが通っている保育園でも、お友達が増えるのは嬉しいことだけど、みんなでいると狭く感じます。それがもっと狭くなるのは活発な園児たちには危険がいっぱいです。国は自分たちの快適さを追求するのに、未来を託せる子どもたちのことは後回し。もっと、子どもたちが、のびのび成長できる環境を真剣に考えて欲しい。年長に在園中です。(神奈川県横浜市金沢区)

●2歳児の子どもが認可園に通っています。子どもが成長するにつれ、一日過ごす保育園の環境を考えます。一日保育士体験をしたことがあります。子どもの安全を見守るのが保育士の第一の仕事だと感じました。おもちゃの取り合いをしたり、走り回ったり、子どもたちのケガの要素は絶えません。

面積基準緩和は大反対です。子どもたちのストレスが増し、ケガや心の病気も増えます。子どもたちがストレスなく過ごせる環境を、親として与えてあげたい思いでいっぱいです。健やかに育つ環境を。これからの日本の為に。子どもたちは財産です。(東京都品川区)

●保育園に求めるものって、安全に健やかに生活できるって事だと思います。待機している保護者も同じ気持ちだと思いますが。基準を下げて、人数を増やすというのは、違うと思います。子どもをなんだとってるんでしょね。今、家畜だってアニマルウェルフェアで広い環境を求められる(世の中な)のに、「預られりゃいいじゃん」くらいの発想で進まれたら困ります。もっときちんと考えてもらいたいです。卒園児の親です。(千葉県市川市)

●保育園に在園中の子どもの親です。子どもたちにとって、十分なスペースで体を動かせることは、運動能力を高め、感覚を統合していく上で重要です。床面積と姿勢保持能力は正比例するとの研究成果もあります。保育園児から園庭を奪い、床面積を奪いながら、背骨を真っ直ぐ立てられない大人が増えたと嘆くことのばかばかしさを回避したいと思います。(東京都文京区)

●一時保育を利用しています。子どもが健やかに成長できる保育所を望んでいます。基準緩和され、狭い面積に子どもが詰め込まれるような保育所へは、不安で子どもを預ける事ができません。しかし、子どもを預けずに生活する事もできません。どうかこれ以上一人当たりの面積が小さくならないように、子どもが健やかに成長できる保育ができるように望んでいます。(神奈川県横浜市)

●娘は5歳で板橋区の保育園に通っています。子どもはいつでも、一生懸命遊び、眠ります。園内でお昼寝をしている様子など見ると、部屋の一面にお布団を敷き詰め、隣の子とほとんど触れそうになるくらいの状況で寝ています。0、1歳児も同様です。人と人との距離が近くなると、精神的な余裕もなくなってきます。小さな部屋で、たくさんの赤ちゃんが泣いているところを想像してみてください。その中にいる保育士の苦労を考えてみてください。(東京都板橋区)

●4歳児クラスに3人目の長女が在籍中です。合理性や利便性が重視され、効率の良さが評価される世の中です。面性基準を下げ、今までと同じ場所により多くの子どもを集められることは、さも評価されることとして取り上げられ、政治的に利用されるかもしれません。

しかし「福祉」はそういった世の流れとは切り離されているべきで、そのために「社会福祉」という言葉があるのではないのでしょうか。「福祉」＝「さいわい。こうふく。」とあります。

人を育てるという大事業を、効率の良さ云々で語って、幸いで幸福な人が育つとは想像できないのです。民間では効率化が進められていても、福祉の場では違う目線で物事が進んでいるからこそ、豊かな時間と空間の中で子どもたちの命と心が守られ、保護者も同じように守られてきました。狭い所に詰め込まれた子ども、それを目にする保護者、事故がないように保育する者、誰もが緊張感と圧迫感に迫られることでしょう。

詰め込みによって多くの事故が起きていることを行政の方にはしっかりと省みて頂き、面積基準が

どれ程大事か、今一度お考え頂き、勇気を持って「福祉」を守るご英断を頂きたいと存じます。よろしくお願ひ致します。(東京都西東京市)

●0、1歳だけの問題じゃありません。なぜか幼稚園には庭もあり運動する場所もあるのに保育園にはビルの中だけ？

(私の)子どもの保育園は、無理やり区から4、5歳クラスを増やされ、ありえない狭い部屋に押し込まれています。区立なのに。半分民営のせい？子どもはひとつ、平等に愛され育つのが当たり前前約束。どうか、「自分の子どもが孫が」の立場で考えてほしい。(東京都港区)

●在園中の親です。主旨に賛同します。子どもの健やかな育ちを阻害する(待機児童)対策であってはならないと思います。(東京都港区)

●卒園児が2人、これから入園の子どもが1人います。9年前に双子を産んで3ヶ月で保育園に預けて復職。私立の認可保育園にお世話になりました。

当時も特に年度途中では園を選べる状況ではなく、2人同園さえも難しかったです。

それでもいい園で安心して卒園まで預けられました。この7月に下の子を生む予定で、当然また保育園に預けることを前提にしています。今回の改正で保育の質が低下するようであれば、自分の選択を悩んだり後悔しながら生み育てることになってしまいます。

また、保育園時代の制度はまだあの手この手で手厚くしようという意図だけは見えますが、小学校へあがった後の元保育園児への対策をもっとしてほしいと思います。保育園卒園翌日からのいきなり社会に放り出されたような心細さ、時間や内容などの実態はひどすぎます。

幼少時代のこのような試練は一時的なものかもしれません。しかし、ここでつまづく家庭も多く存在するんだということを知ってください！よろしくお願ひします。(東京都新宿区)

●来週から会社復帰しますが、子どもたちにはよりよい環境で過ごしてほしい。何とか認可に入れましたが、認可といってもピンキリ。みんなが幸せな環境で保育できますように。(神奈川県川崎市)

●意見表明に賛同いたします。「広さ」はとても大事だと思います。(東京都調布市)

☆面積基準緩和は「待機児童対策」とは言えない

●子どもが在園中です。小泉内閣時代の「待機児ゼロ作戦」で、定員以上の詰め込み保育と職員の非常勤化が進んで以降、認可保育所での死亡事故が急増していることを、ご存じですか。「保育園に預けたことを後悔する親を、これ以上うまないで」。お子さんを亡くした保護者の涙の訴えを、私も直に聞いたことがあります。決して他人事ではありません。どうぞ行政に携わるみなさんは、この声を真剣に受けとめてください。子どもの命は一つきり。そして一人ひとりの子どもの保育園

時代は一度だけ。失われたら、あとで取り戻すことはできないのです。(東京都西東京市)

●待機児童の単なる数減らしのための安易な保育園の面積基準の緩和は、子どもたちの健やかな発育の保障を阻害すると私は考えます。詰め込み保育が死亡事故を引き起こしている事実を行政は重く受け止め、面積基準の緩和による詰め込みではなく、国基準の面積を確保した保育園を数多く整備することで待機児童解消を図ってほしいと切に願います。(神奈川県横浜市)

●面積基準緩和という発想は、子育てに主体的に関わったことがある人には無い発想だと思います。子ども、保育者双方にデメリットしかなく、安心して預けられません。待機児童対策とは言えないと思います。(東京都調布市)

●保育園は、現在の基準でも子どもが生活する場として質が低いと思わざるをえない。待機児童が解消するとしても、今でも満足でない基準をさらに下げ子どもたちが生活する場を、ないがしろにするのなら私は待機のままがいい。(東京都中野区)

●待機児解消を理由に面積基準を緩和するのは本末転倒であり、子どもたちの命に関わります。公設公営の認可保育園の増設こそ、待機児解消への道です。面積基準緩和には断固反対します。(東京都板橋区)

●私は待機児童の親です。フルタイムで働いていても2年連続で、待機です。待機児童問題をなんとか解消してほしいと願っていますが、そのしわ寄せが子どもに行くことは誰も望んでいません！ 「いま困っている親や子どものため」といって東京都や大阪市では、条例を書き直しましたが、事故が起きてからでは遅い。待機児童の親も、自分の子やその友達の命が危険にさらされても、認可保育所に入れたいなんて絶対に思いません。認可保育所を増設すれば待機児童問題は解決するのです。どうぞ、真面目に認可保育所を作ってください。(東京都東久留米市)

●現在、私立の認可保育園に在園させている母親です。子どもたちの安全や先生方の労働環境を考えても、保育所面積基準の緩和は容認できません。そのような危険で、一時しのぎの対策を「少子化対策」とは思えません。安全に育つ環境は、最低限守られるべきです。またぎゅうぎゅう詰めにされた環境で働くスタッフ先生方のストレスは、さらに安全性を低めます。どうか、保育園待機児童解消を一時しのぎの危険な方法で解決させないでください。子どもたちの命を守ってください。(大阪市天王寺区)

●わが家の子どもたちが通う保育園も、ここ数年で定員が約1.5倍に増えました。保育室はもとより、行事を行うホールも園庭も明らかに余裕がなくなり、育ち盛りの子どもたちが狭い空間をどうにか分け合って過ごしている、というのが現状です。これ以上の基準の緩和(改悪)は、子どもの発達や生活の質を無視し、大人の都合を押しつける暴挙以外の何物でもないと切実に思います。待機児童の増加は、小手先の基準緩和(改悪)で解決できるような問題ではありません。国や自治

体は、保育にしかるべき予算を振り分け、せめて現状の基準を満たした保育園を増やすのが筋というものです。面積基準の緩和には、断固反対いたします。(東京都文京区)

●在園中の子どもの親です。詰め込みで待機児童を無理矢理減らしても、まったく嬉しくありません。安心して預けられるところに預けたいのです。そのためにも、保育士さんたちの待遇改善もふくめて、人や場所を増やしてください。子どもたちが毎日長時間過ごす場所です。数字上、卓上だけで決めないでください。よろしく願いいたします。(東京都杉並区)

●在園中の親です。保育園入れず苦勞してやっと入れたら、事故で亡くなる。そんなこと保護者は望んでいません！ 面積はもとの国の基準でも足らずに東京都のほとんどの認可保育園ではもっとスペースをとっています。それでも広いとは言えない現実。予算出さず、保育園が作られず満員電車のように子どもを詰め込むことで、ごまかすことを自治体に勧める国の政策も最低ですが、子どもの命に責任持てない自治体と、宣言している緩和に踏み切る自治体も最悪です。(東京都稲城市)

●待機児童問題への対策が早急に必要な事は理解していますが、保育園の面積基準緩和には反対です。元々大阪市は0歳児に対して独自に国基準以上の面積基準を実施しており、昨年0歳の子を預けて働き始めた母としては深く感謝しておりました。にも関わらず、ここにきて全国的にみても最低と言えるまでの基準緩和の実施は残念でなりません。

この経済状態のため、ここ10年間のオフィススペースや個人スペースの縮小は著しく、ほぼ座りっぱなしで業務を実施している私自身でさえもストレスに感じるのに、活発に動く子どもが狭いスペースに押し込められた時のストレスたるや測り知しれません。接触や嘔み付きによる事故はもちろんのこと、俗に言う「ヒヤリハット」が頻発し、場合によっては死亡につながる事故が発生することも十分考えられます。

そもそも、待機児童への対策として面積基準緩和を採用することそのものが間違っていると考えます。子どもを安心して預けられる所がなければ親は仕事に打ち込むことはできません。待機児童への対策とは、親が安心して預けられる場所を用意することではないのでしょうか。それが結局国の経済成長にもつながるのではないのでしょうか。

大阪市では3歳以上児が定員割れしている保育園が多いと聞いていますので、認可保育園の増設が厳しいのはわかります。反対の人も多いようですが、詰め込むよりは保育ママをベースとした小規模保育園(フローレンスの駒崎さんが実施されているようなおうち保育園)を新設し、国基準面積を確保しながら、2歳児以下の待機児童問題へ対策いただきたく、何卒よろしく願いいたします。

(大阪府大阪市)

●まだ自分でほとんどの事をできない乳児を詰め込むことで待機児童緩和とは、これから出産を控えている私にとって衝撃的な事です。子どもが2人在園中で、今年3人目出産予定、来年度より0歳児入園予定です。(面積基準の緩和の)決定を考えている人は、実際に自分の子や孫がそのような状況に置かれることを考えているのでしょうか。今一度、自分の身近な子がそんな状況に置かれることに置き換えて考えてもらいたいと思います。

私が 3 人目の出産を安心して出来るのも、保育環境が子どもに安全だからです。もし、詰め込められると考えたら働いてなどられません。(東京都西東京市)

●待機児童が多い地域に住んでおります。第一子は卒園し、第二子在園中です。「保育園に入れないかもしれない」これが妊娠中からの唯一の悩み不安でした。

問題解消に向けて対策を進めてくださるのはいずれいいけれど、それは決して保育の質を下げることを望むものではありません。乳児は特に一瞬たりとも目を離してはならないです。詰め込み保育を容認するのはやめてください！(神奈川県川崎市)

●この4月から1歳児クラスに入園しました。面積基準緩和が待機児童解消のためになるとは大間違いです。数字でのみの解決にしかならず、子どもを大切にしていける社会とはかけ離れています。子どもを詰め込むことで子どもへのストレス、大小の事故、保育士の負担が増えることは明らかです。私はこの詰め込みが採用され保育士さんへの信頼がおけない場合、仕事を諦め、保育園を諦めようと考えています。同じように考える人は少なくないはずで、女性が働けない、あるいは経済的に困難な人たちがリスクを負って保育園に入れる、という社会であってはならないと思います。(大阪府大阪市福島区)

●1人当たりの面積を小さくして入所枠が増えることにより、保育所に入れたとよろこぶ親も増えるのかも知れません。しかしその親とて、これに起因する事故や心身への悪影響の可能性を正しく把握・覚悟した上で喜んでいるのではないでしょう。保育所は1人の人間が一生のスタートを切る場でもあり、親を一瞬よろこばせれば事が済む話ではありません。国・自治体の行政が、需給の数合わせに終始することなく、科学的検証結果や現場の人の知見を最大限に尊重してなされることを望みます。子どもの成育環境をどう取り扱うのかは、国の姿そのものです。今のこの方向性で本当に良いのかどうか、子どものいる人もいない人も、100年の計をもって考える必要があると思います。(埼玉県春日部市)

●一日の大半を過ごす保育園の環境は子どもにとってとても重要です。事故が起きないことは最低限のこと、子どもたちの発達に十分はスペースの確保は必須だと考えます。

待機児童の解消は重要ですが、その解決策が本来の保育の目的に則していないものでは、何の意味もないと考えます。子どもを持つ働く母親として、ただ保育園へ入れられればよいというものではありません。安心できる環境に子どもを預けられるのでなければ、結局は何の課題解決にもなっていないのです。将来を担う子どもたちの成長のために、何が必要なのか、ご検討よろしくお願いたします。(東京都杉並区)

●現在、世田谷区の認証保育園に年中児を預けています。待機児童のより早い解消・善良な解決方法を望みますが、その方法が、「保育園の面積基準緩和」ではまったく解決になっておらず、また違う問題が勃発してしまいます。

小手先の解決方法ではなく、民間企業を巻き込むなどの(大企業は、自社である一定のレベルの保

育所を完備するなど）法改正を望みます。行政頼みではなく、国全体で子どもたちを育てる法律を早く願ってやみません。（東京都世田谷区）

●在園保育園児の親です。面積基準緩和に反対です。待機児童解消には、認可園を時限付きでも増設するなど他に出来ることがあるはずです。子育て世代が納付している税金をもっと子どもたちに分配してください。子どもの命を預かる場として、安全に必要とされる面積基準を下回ることはおかしいと思います。（東京都板橋区）

●2012年4月から保育園に通い始めた1歳児の親です。面積緩和というニュースを聞き、とても不安に思っています。大阪市は待機児童も多いし、私たちの居住区も、倍率10倍以上だったと聞きました。入園が決まった時はホッとしましたが、面積緩和によって詰め込んでまで、待機児童解消をしてほしいと望んだことは一度もありません。子どもの成長、安全を一番に考えてほしいです。見かけだけの数字の改善（待機児童数の減少）を、「成果」だと言ってほしくないです。橋下さんへご自分のお子さんであっても、面積緩和された保育園に預けて安全だ、と考えられるのでしょうか。どうか、子どもたちの安全のことを一番に考えてください。お願いします。（大阪府大阪市）

●子どもを在園させています。待機児童の問題と保育所における保育環境の問題は個別に考えるべきであると思います。（埼玉県川口市）

●待機児童予備軍となりそうな0歳の子を持つ育休中の母親です。待機児童対策としての保育所の面積基準緩和に危機感を覚え、反対します。

行政の皆様には、数字のトリック的な対策ではなく、保育所の新設など本筋のご対応をお願いしたいです。子どもを安心して預けられる施設や環境があつてこそ、親の職場復帰が叶います。この緩和が安全を守れないかもしれない場所に子どもを預ける、という選択を親に迫る結果にならないことを祈ります。

個人的には、わが子が保育園に入れられないかもしれないという妊娠前からの不安は、現実化する可能性が高まっています。復帰できず退職ということになったら、という心配が頭から離れません。それでも35市区に杉並区の名がなかったときはほっとし、緩和に向かわなかったご担当者と首長のご判断にあっぱれと思いました。

また、この緩和が、現場で働く保育士さんたちの負担増となるのではないかと心配です。子どもを産む、育てる、働くという個々人の選択を、行政にはこれまで通り質を下げることなくサポートして頂きたいです。（東京都杉並区）

●今より狭くなるなんて、絶対おかしい。保育園って子どもが1日の大半を過ごす場所なんですよ？ 雨の日は外で遊べないから、梅雨の時期はお部屋の中で過ごすんですよ？ 身体は小さいけど大人より元気ですごく動き回りますよ？ 待機児童をなくすために、子どもたちに窮屈な思いをさせるのは、全然意味がない。そんな事望んでる人がいるんですか？ なんて、余分な事にお金使うのに、大事なところを削ろうと頑張っちゃうんですか？ （神奈川県横浜市金沢区）

●保育園は子どもの生活の場。ご飯を食べたり、お昼寝をしたり、友だちと遊んだり・・・といった1日を想像してみてください。0歳児だからといって、決して寝たまま、座ったままではないのです。

子どもの生活を保障するのは大人の義務。子どもに犠牲を強いるような待機児童対策は、大人のすることではありません。

今一度子どもの生活の視点に立ち返り、血の通った施策を検討していただきたいと思います。(大阪府和泉市)

●面積基準緩和に反対します！

数字はあくまでもデータでとったもの。子どもは生きているんです。予期せぬ動きもします。現在男の子を1人、認可園の2歳児クラスに預けていますが、それでも擦り傷、ケガをすることはよくあります。今より基準が緩和され、狭い空間で保育する中で子どもへのストレスや命にかかわるケガが危惧されます。しいては将来の育ちにも不安が生じます。

親や保育関係者の意見もきちんと聞かず机の上で議論しないでください。働きたくても預ける場所がない、待機児童解消については、箱物は既存のものを使い自治会館、保育ママを増やすお金をもっと子どもにかけてください。

行政改革をしっかりと行わない政府に国民に今以上の増税を課す資格はありませんし納得できません。保育料を上げ、保育園に預ける親に、子ども支援の予算を負担させることにも納得できません。それにより益々少子化が進むでしょう。

政治家はきちんと今を生きている子どもたちをみてください。表面上ではきれいごとを言っていますが、日本の未来を他人事とらえているしか思えません。本当にこのままでは日本の将来が心配です。(神奈川県横浜市)

●保育園に在園中の子どもの親です。母になった女性が仕事に復帰できるかどうかは、子どもを保育園に入れられるかどうかではなく、子どもを「安心して」保育園に入れられるかどうかです。

詰め込みが懸念される中で、落ち着いて仕事ができるでしょうか。また、いまだに、世間では「保育園に預けて働きに出るのは子どもがかわいそうだ」という意見もあります。母親たちは、そんな主観だけ感情だけの意見に時に傷つきながら働いています。子どもたちにいい環境を、と願うことと、母親になっても働き続けることは両立出来ないのでしょうか。

国が、地域が、子どもを育てよう守ろうとする姿勢を見せてくれなければ、母親の社会復帰は阻まれ、また、これから子どもを持つとする女性をも減らしていくと思います。(東京都国分寺市)

●保育園に子どもを預け、働いていた経験がある身としては、「これ以上詰め込みして、大丈夫なの？」と正直思います。大規模学童保育で、狭い中、子どもが大声を出し指導員の声も届かない、そんな環境で子どもがイライラしたり、ぶつかってケガをしたり、という経験もしました。働く母親が増え、待機児童対策が必要なことは十分わかっています。しかし、駅前保育や延長保育の充実など、子どもの育ちよりも親側の都合、あるいは経営側の都合や経済効率ばかりが重視されすぎて、

目に見えない質（そして安全）が、置き去りにされないのか、昨今の風潮、ますます強まる中、危惧しております。

社会で子どもをみんなで育てるということはどういうことなのか、こういった基準を見ればわかるのではないのでしょうか。子どもがイライラしたり、ケガが絶えなかったり、あつてはならない保育事故が起こることが予測されるような規制緩和には、はっきりと NO と訴えたい。普段お世話になっている保育現場の職員の方々が安心して保育できるよう、また親が本当の意味で安心して預けられるような施策を本当に望みますし、各自治体の保育責任者の良識を、保護者としては信じたいと思います。（埼玉県越谷市）

●子どもが認証保育園に在園中です。認可の保育園に申し込んでも、定員いっぱいだと聞いて、早々に認証保育園に申し込みました。

待機児童、という早急に国と自治体が責任をもって解消しなくてはいけない問題を、基準を緩和することで「解決」としないでください。子どもに苦しい思い、つらい思いをさせないでください。ただでさえ、今、狭いのです。認可の基準が下がれば、認証だってますます下がっていきます。子どもがのびやかに育つことを中心とした改革をしてください。それが日本の未来を決めると思いません。（東京都町田市）

●現在、保育園に子どもを預けて働きに出る事ができる環境を、大変ありがたく感じています。また、子どものために尽力してくださる保育士の方にも感謝しています。働く親の家庭を対象とした保育園の在り方が制度と共に親の要求が近年、目まぐるしく変化していて煩雑さを感じます。親は本来なら家庭保育を基本として親になるべきであって、家庭と親の役割を保育園に求めている現状があるかと感じます。また制度も保育料の値上げをして、実際の保育園の状態の変化は成果としてあげられているのか、他にやるべきことがあるのではないのかを問いたくなるものがあります。国は、保育料を上げて、面積を狭くして、今の保育の質を保つことを保育園に指導しているのでしょうか。

一番大変なのは、子どもを預かる保育園。保育士の負担を考えてほしいです。安全面、衛生面はもちろん、保育士が安心して働ける環境が良い保育の質につながると思っています。そして、親としても、子どもの成長を安心して見守ると共に、働く環境を整える余裕につながると思っています。待機児童、保育の質、保育士の働く環境と保証を一番に考えてほしいです。（神奈川県横浜市金沢区）

☆大人の都合のしわ寄せを子どもに押しつけるな

●十分に物が言えない子どもたちを狭い空間に押し込むことが、福祉政策と言えるのでしょうか。本来、待機児童対策は子育て支援や少子化対策のはずですが、本末転倒になってはいないのでしょうか。

子どもたちへのしわ寄せは、必ずや社会の歪につながります。今こそ大人たちの英断が求められる時代です。次世代を担う子どもたちのため、ご配慮のほど何卒お願い致します。（神奈川県横浜

市鶴見区)

●大人の都合のしわ寄せを、子どもたちに押しつけるのはやめてください。(東京都板橋区)

●いいかげん、大人の都合のしわ寄せを子どもに押しつけるのやめませんか？本当の豊かな国をつくりましょうよ。(東京都板橋区)

●子どもが自分の意見を主張できないから、狭い所に閉じ込めないでください。自分が同じ立場に置かれることを考えて、現場を見てください。(東京都杉並区)

●満員の通勤電車、混雑した店など、大人なら誰でも不快な思いをしたことがあるでしょう。保育所の面積基準緩和はまさに、これと同じ状況を子どもたちに強いることにほかなりません。そして子どもたちは、苦しいということを、訴えることもできなければ、その場から逃れることもできないのです。

健全な育ちの場を守ってもらえない場所に、将来子どもたちは根付くでしょうか？大切にしたい故郷として、帰ってくるのでしょうか？

子どもたちを守ることは、地域社会ひいては国を支える柱を守ることにつながります。かけがえない命を社会全体で育む、その根幹を覆すことのないよう、行政に携わる方々に是非ともお考えいただきたいと思います。(神奈川県横浜市瀬谷区)

●子どもたちを守り、大切に育むことが大人の責任であり、国家、世界の平和につながると思います。この反対運動は、声の出せない子どもたちの代弁だと受け止めて頂きたいです。(大阪府寝屋川市)

●保育園に在園中 1 人、これから 1 人の母親です。意見表明に賛同します。基準緩和の理由は、子どもの視点からでなく、大人の都合によって考えられているものと強く感じます。どうか子ども目線で再検討をお願いします。保護者は子どもの幸せを「一番」に考えています。大人の都合は最優先・最重要ではなく、二番手以降なのです。(神奈川県川崎市多摩区)

●大人の都合で子どもの権利を奪うのは間違いです。規制緩和は大人の事情です、子どもの権利を奪う事です。保育園を考える親の会に賛同します。(埼玉県川口市)

●将来を担う子どもたちのために、よりよい環境を確保することが大切です！大人たちの環境だけ良くするのはおかしく思います。(大阪府吹田市)

●保育所面積基準の緩和についての意見表明に賛同いたします。(東京都府中市)